

後援会 東北工業大学 だより

第41号

東北工業大学後援会

令和8年4月20日(月)

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35番1号 電話(022)305-3155

後援会会長あいさつ	2
令和8年度後援会総会	2
令和7年度事業報告	3
令和8年度事業計画	5

別刷

令和8年度保護者懇談会のご案内

令和8年度保護者懇談会日程

講演者紹介

キャンパスガイド家庭版



ごあいさつ



後援会会長
丹野 喜昭

平素より、東北工業大学後援会活動にご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。後援会の活動は、学生皆様の生活全般そして成長できる場の提供と支援が主な役割です。大学・同窓会・後援会のネットワークを構築することで、学生皆様のさまざまな情報共有やキャリア形成のサポートへ繋げております。新年度に際しまして、入学式後に後援会総会を開催し、令和7年度の事業と会計報告、令和8年度事業計画並びに予算(案)をご承認いただきました。それでは、後援会の事業をいくつかご紹介させていただきます。

1. 保護者対象事業

<保護者懇談会>

大学と家庭との連携を深める活動として、例年6月に保護者懇談会を開催しております。仙台会場2カ所(八木山キャンパス・長町キャンパス)、東北5県および新潟県の計8会場に加え、オンライン面談も実施しています。仙台会場については11月にも開催を予定しております。

保護者懇談会では、ご子女が所属する学科の教員と個別面談を行います。学業はもちろん、授業の出席状況、就職対策、課外活動などについて、直接教員からアドバイスを受ける貴重な機会となっております。参加された保護者の皆様から大変好評をいただいております。

また、オンライン(オンデマンド)講演会を後援会Webサイト内で配信いたします。内容は、就職委員長による「本学の就職サポート体制と各学科の就職状況」、およびカウンセラーによる「本学における学生相談のご案内」となっております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

<大学見学会>

10月の大学祭に合わせ、保護者を対象とした大学見学会を実施いたします。学生の普段の活動や成果をご覧いただく機会となっております。後援会としては、大学祭で使用できる金券を補助いたしますので、ぜひ多くの皆様のご来場をお待ちしております。

2. 学生対象事業

<100円カレーDAY>

大変好評をいただいている「100円カレーDAY」の経費を援助いたします。本事業は、食事を摂らない学生や栄養の偏りによる体調不良を防ぐことを目的としており、学生の健康維持と経済的支援の一環として実施いたします。

<課外活動支援>

クラブ活動の用具類の購入支援を行うほか、令和7年度は課外活動優秀者として1団体、23名の個人が学長より表彰されました。後援会からは、その副賞を贈呈いたしました。

<就職支援>

就職活動に役立つ「就職の手引き」の作成支援、就職支援講座・模擬テストの開催支援に加え、保護者向け就活アドバイスセミナーの開催や、公務員教養試験対策講座の経費の一部を援助しております。

<貸与奨学金>

歴代の保護者の方々から委託された特別積立金の活用策の一環として、平成12年度より「東北工業大学後援会貸与奨学金制度」を制定しております。この制度により、4年次に在籍し、経済的な理由で就学が困難な学生に対し、後援会が銀行と提携して奨学金を貸与しております。

上記の事業に加え、保護者・学生・大学のためにさまざまな施策を実施し、満足度の高いサービスの提供を心がけております。今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年度 東北工業大学後援会総会

日時 令和8年4月3日(金)午後12時10分(入学式終了後)
場所 東北工業大学八木山キャンパス体育館
出席者 新入生ならびに在学生の父母約800名

※令和7年度をもって青木理事が退任されました。ご尽力に厚くお礼申し上げます。

第1号議案 令和7年度事業報告及び決算について
高橋副会長より、後援会の主要事業である保護者懇談会を含む令和7年度事業報告が行われました。その後、高橋副会長より決算報告、遠藤監事より監査報告が行われ、原案どおり承認されました。
第2号議案 令和8年度事業計画並びに予算(案)について
伊藤副会長より事業計画(案)、予算(案)が提案され、原案どおり承認されました。
第3号議案 令和8年度役員改選(案)について
事務局より、新年度役員の提案があり、承認されました。

議長解任後、令和8年度新役員の紹介が行われ、丹野会長が挨拶し、12時40分ごろ閉会しました。

令和8年度 後援会役員

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	丹野 喜昭	理事	○千葉 理子
副会長	佐藤 育朗	青森県支部長	八戸 認
副会長	高橋 健一	秋田県支部長	佐々木雅章
副会長	伊藤 克利	岩手県支部長	福土 光則
会計担当理事	小野寺正美	山形県支部長	加藤 元康
理事	堀 豊	福島県支部長	嶺岸由紀彦
理事	安倍 恵子	新潟県支部長	大竹 章夫
理事	佐々木直美	監事	齋藤 麻希
理事	菊池 ルミ	監事	遠藤 拓
理事	樋口 一成		

○印は新任

令和7年度 後援会事業報告

東北工業大学後援会は、昭和60年4月の発足以来、今年度で41年目を迎えることができました。

本会は、規約に基づき、その目的達成のため各種事業を継続的に実施しております。ここに令和7年度の活動を報告いたします。

記

1. 大学と家庭との連絡活動

(1) 父母懇談会

後援会の主要行事の一つである父母懇談会は、6月には東北から新潟までの8会場及びオンライン、11月には仙台会場及びオンラインにて開催され、409名（ご両親出席も1名として集計）のご父母が参加されました。

各会場では大学側の近況報告後、学科ごとに教員との個人面談が行われました。ご父母からは、学業成績をはじめ就職問題に至るまで活発な質問やご意見が寄せられ、応対する先生方と和やかな中にも熱心な話し合いがもたれ、好評のうちに終了しました。

5年目となるオンライン個人面談には、6月、11月合わせて82名のご父母が参加されました。

開催地	青森県青森市	秋田県秋田市	岩手県盛岡市	宮城県仙台市	オンライン	山形県山形市	福島県福島市	新潟県新潟市	宮城県仙台市	オンライン	合計	
実施日	6/21	6/7	6/22	6/14	6/14	6/7	6/21	6/8	11/8	11/8		
参加者	17	24	31	101	34	19	10	5	120	48	409	
工学部	電気電子工学課程	4	3	7	29	13	3	1	0	32	7	99
	情報通信工学課程	5	3	2	13	9	4	4	0	21	18	79
	都市工学課程	2	4	5	15	1	4	1	0	7	0	39
	環境応用化学課程	0	4	4	4	1	2	2	0	1	4	22
LD学部	建築学科	3	6	7	13	2	2	2	2	13	3	53
	産業デザイン学科	2	1	2	13	1	0	0	3	17	4	43
LD学部	生活デザイン学科	0	3	3	8	5	3	0	0	20	9	51
	経営デザイン学科	1	0	1	6	2	1	0	0	9	3	23

※ LD学部はライフデザイン学部の略称です。
（ご両親出席も1名として集計）

参加者からのアンケートでは、

- ・具体的に説明頂きとても参考になりました。ありがとうございます。
- ・初めて参加させて頂き、担当の先生との個人面談も、普段の様子や、今後についてお話しする事が出来てとても良かったです。今後ともよろしく願います。
- ・息子の通っている大学の雰囲気を感じることができて良かったです。今後も楽しく学んでいけるよう家族として努力したいと思います。

などの感想が寄せられました。

(2) オンライン（オンデマンド）による講演会の開催

父母懇談会の開催に合わせ、後援会 Web サイトへ講演会の動画を掲載しました。講演内容は次のとおりです。

講師：就職委員長 角田 裕（工学部 情報通信工学課程 教授）
演題：「本学の就職サポート体制と各学科の就職状況」

講師：上西 創（学生相談室 カウンセラー）
演題：「本学における学生相談のご案内」

皆様が関心の深いテーマを今後も継続し、より充実した講演会にしていきたいと考えております。

(3) 「後援会だより」並びに「キャンパスガイド家庭版」の発行

後援会の活動状況を会員にお伝えするため、「後援会だより」（第40号）を4月に発行しました。

あわせて父母懇談会の意義や講師の紹介などを掲載した父母懇談会のご案内と「キャンパスガイド家庭版」を作成し送付しました。

2. 学生生活に関する援助

(1) 100円カレーデー（昼食）への経費援助

食事を摂らない学生や栄養の偏り等で体調を崩してしまう学生の健康改善と経済支援策として、学業に専念できる状態を維持することを目的とし大学が実施する100円カレーデー（昼食）の経費を援助しました。

(2) 災害発生時の帰宅困難学生用の備蓄品（食料）購入に係る経費の一部を援助しました。

(3) 女子学生支援として、各キャンパス保健室前トイレに生理用品を設置し、無償で使用できるようにしました。

3. 就職支援の援助

(1) 「就職の手引き」の作成

学生の就職活動に役立ててもらうため、就職活動の進め方や履歴書の書き方などを記載した「就活ガイドブック」を作成、3年次生に配布し、その経費の一部を援助しました。

(2) アセスメントテスト・民間就職試験対策講座の実施

学修や生活に適した目標設定や就職活動に向けた自己分析を行うため、4年次生におけるアセスメントテスト（PROG）の経費を援助しました。

また、1～3年次生の就職支援を強化するため、希望者に対し「応募書類対策講座（履歴書・エントリーシート）」、「筆記試験対策講座（SPI・玉手箱）」、「グループディスカッション&模擬面接講座」を実施し、その受講料の一部を援助しました。さらに、保護者向けセミナー「プロが語る～親ができる就活アドバイス」の受講料を援助しました。

(3) 「公務員教養試験対策講座」の受講料の一部を援助しました。

(4) 就職活動に備えることを目的に実施した、「就職活動早期準備講座」の経費を援助しました。

(5) 進路支援活動への支援

各学科で実施する進路支援活動に対し、学生数×1,000円を上限に援助しました。

4. 課外活動の援助

学生会・課外活動連合委員会を中心とする学生の自主活動には、体育会系・文化会系クラブの約50団体と、学生部会・大学祭実行委員会・報道部会・応援団・その他任意団体がありますが、その活動を後援する目的で下記のとおり援助を行いました。

(1) クラブ活動用具類等の援助

課外活動連合委員会からの要請を受け、各クラブの活動状況を評価して、必要な物品を援助しました。

(2) 北海道科学大学との総合定期戦における諸経費の一部援助

第40回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦が8月19日・20日の2日間開催されました。

今年は、北海道科学大学体育館メインアリーナなどを会場に、サッカー部・ソフトテニス部・弓道部・硬式テニス部・バスケットボール部・剣道部・柔道部・アメリカンフットボール部・男子バレーボール部・女子バレーボール部・ハンドボール部・バドミントン部・卓球部の12競技13種目で熱戦が繰り広げられ、接戦

の末、8勝5敗で本学が総合優勝を飾りました。それらに掛かる経費を一部援助しました。

- (3) 千葉工業大学との硬式野球部定期戦
千葉工業大学との第48回硬式野球部定期戦は8月16日に長町キャンパス野球場で開催され4-3で勝利を収めることができました。
この定期戦に伴う費用の一部を援助しました。
- (4) 学外指導者への援助
学生のクラブ活動をご指導いただいている学外指導者に対し、大会への引率旅費等を援助しました。
- (5) 課外活動クラブが遠征等に八木山シャトルを利用した際の借用経費等の一部を補助しました。
- (6) 課外活動クラブが学外での練習等で利用する施設の使用料を補助しました。
- (7) 課外活動優秀者表彰において、団体表彰（1団体）及び個人受賞者（23名）へ副賞を贈呈しました。

5. 教育に必要と認められる援助

- (1) 図書館への援助
電子書籍を購入し、大学図書館に寄贈しました。
- (2) 卒業生および新入生への援助
卒業生に対する記念品として印鑑、新入生に対する記念品としてキャンパスカレンダー、および産業デザイン学科学生のデザインによるペーパーバッグ（手提げ袋）を贈呈しました。
- (3) 二輪車運転実技講習会経費の一部援助
大学では、安全運転の徹底をはかるため二輪車で通学する学生に対して、登録制度を採用しており、大学が指定する実技講習会の受講を義務付けています。本年度は、5月、6月に実技講習会を実施しており、全体で30名が宮交自動車学校の指導員より指導を受けました。講習会参加賞品の一部を援助しました。
- (4) 工大山羊プロジェクトに係る経費を援助しました。
- (5) 学生の自主的活動（T-project）の企画に対し経費を援助しました。
- (6) 10月11日（土）・12日（日）八木山キャンパスで開催された大学祭時に学生の活動や学内の様子を見学するための「大学見学会」を実施し、それら経費の一部を援助しました。

6. その他大学の発展に寄与するものと認められる援助

- (1) 貸与奨学金制度
大学から推薦された1名の学生に後援会貸与奨学生として総額330,000円を貸与いたしました。
昨年度までに採用された72名の卒業生から返還が行われております。卒業された奨学生の方々の社会でのご活躍を祈念いたします。
- (2) テクロビ（TECH-LOBBY）への援助
サテライトキャンパス「テクロビ」の広報活動の一助として、「テクロビ通信」の印刷経費等を援助しました。

7. 後援会支部組織の強化支援

後援会の充実と組織の強化を図るため、東北5県（宮城県除く）および新潟県に支部を結成しており、地元での活動を行っています。
大学と各支部との情報交換および活動支援のため、後援会本部役員等が各支部総会のほか幹事会にも参加し意見交換を行っています。
各支部では、支部会報を発行する等の活動が行われています。

令和7年度 各県支部総会開催および支部役員

開催県	青森県 第31回支部総会	岩手県 第32回支部総会	秋田県 第30回支部総会	山形県 第34回支部総会	福島県 第31回支部総会	新潟県 第27回支部総会
開催日	6月21日(土)	6月22日(日)	6月7日(土)	6月7日(土)	6月21日(土)	6月8日(日)
支部長	八戸 認 (青森市)	福士 光則 (滝沢市)	佐々木雅章 (秋田市)	加藤 元康 (東置賜郡)	嶺岸由紀彦 (福島市)	大竹 章夫 (阿賀野市)
事務局長	有馬 清文 (青森市)	佐藤 功 (北上市)	藤田 勝 (秋田市)	斎藤 雅博 (最上郡)	宗像 幸雄 (郡山市)	市川 勝彦 (阿賀野市)
幹事	西館 隆 (八戸市)	工藤 安彦 (盛岡市)	藤田 正春 (秋田市)	佐々木健一 (山形市)	壁谷 茂 (田村市)	藤原 俊一 (新潟市)
	佐藤 仁志 (和田市)	菅原 正明 (盛岡市)	小林 克至 (秋田市)	小林 雅史 (東田川郡)	山田 良一 (福島市)	加茂 克明 (新潟市)
	横内 俊博 (青森市)	佐々木敏江 (紫波郡)	藤澤 哲 (秋田市)	五十嵐志真 (鶴岡市)	只野 昭治 (二本松市)	五駱 一孝 (新潟市)
	長利 好見 (つがる市)	小原 学 (紫波郡)	浅利 善人 (秋田市)	土田 裕 (鶴岡市)	林 由紀江 (いわき市)	土田 恵子 (見附市)
	成田 全弘 (南津軽郡)	日廻 葉子 (奥州市)	足利 健 (秋田市)	五十嵐 恵 (新庄市)	石田 順子 (伊達市)	
	吉崎 雅幸 (青森市)	吉川 香 (滝沢市)	佐々木 司 (秋田市)	増川 早也 (鶴岡市)	斎藤 祐一 (福島市)	
		梅澤 悦子 (北上市)	高橋 雄一 (秋田市)	芳賀 好治 (寒河江市)		
		萩原 一枝 (一関市)	奥山 正樹 (由利本荘市)	目黒 一美 (米沢市)		
		山浦 秀敏 (大船渡市)	伊藤 秀彰 (由利本荘市)			
		兜森めぐみ (北上市)	山内 善幸 (秋田市)			
		青菊 泰則 (紫波郡)	岸田 学 (秋田市)			
		中島 俊明 (盛岡市)	三浦 清文 (秋田市)			
退任された役員	数竹 茂光 (令和7年3月)	菊地 康 晶山 泰彦 (令和7年3月)	高橋 孝悦 (令和7年3月)	山口 薫 (令和7年3月)	工藤 明大 (令和7年3月)	相田 悦子 (令和7年3月) <顧問> 伊藤 広義 (令和7年3月)

8. 同窓会との連携強化

例年、大学の発展に寄与するため、大学の支持基盤の強化を図る一助として同窓会との連携を強める活動として同窓会総会・懇親会に後援会役員が出席し交流を深めております。

また、同窓会山形県支部総会、同窓会福島県支部設立記念事業に出席しました。

更に、令和5年青森会場、令和6年秋田会場に引き続き、本年度は山形会場で工大同窓生による企業紹介が行われました。

9. 後援会事務局からの情報発信

令和2年4月より、東北工業大学後援会 Web サイトを開設しました。本会の運営状況につきましては <https://tohtech-koenkai.org/> からご確認いただけます。

10. 諸会議等

- 総 会 令和7年4月4日(金) (議案書審議)
- 三 役 会 議 令和7年4月23日(木) (令和7年度後援会活動について)
- 三 役 会 議 令和7年10月3日(金) (秋の理事会・令和7年度事業、予算中間報告について
令和8年度事業計画について)
- 理 事 会 令和7年10月11日(土) (令和7年度事業、予算中間報告について
令和8年度事業計画について)
- 大学見学会 令和7年10月11日(土) (宮城県外ご父母 大学見学会)
- 大学見学会 令和7年10月12日(日) (宮城県内ご父母 大学見学会)
- 三 役 会 議 令和7年12月17日(木) (卒業・入学記念品選定、支部活動経費など)
- 三 役 会 議 令和8年2月10日(火) (貸与奨学生について)
(メール審議)
- 会 計 監 査 令和8年3月7日(土)
- 三 役 会 議 令和8年3月7日(土) (総会議案検討)
- 理 事 会 令和8年3月14日(土) (総会議案書審議)
- 事務局会議 随 時

令和8年度 後援会事業計画

後援会規約第3条に基づく、事業計画の主な項目として、下記のとおり提案します。

記

1. 大学と家庭との連絡活動

- (1) 保護者懇談会
大学教職員と保護者との交流の場として、学生の学園生活・修学および就職状況等について語り合う保護者懇談会を開催します。保護者懇談会の充実に努め、参加者の増加を図ります。
詳細につきましては4月下旬発送の保護者懇談会のご案内もしくは本会 Web サイトをご覧ください。
- (2) 保護者懇談会時の講演会の実施
各会場において講演会を開催していましたが、令和8年度につきましてはオンライン（オンデマンド）とし、後援会の Web ページより視聴することができるよう準備します。
講師には、就職委員長（本学教員）およびカウンセラーを予定しています。
- (3) 「後援会だより」「キャンパスガイド家庭版」の発行
後援会活動状況ならびに大学生生活等の情報発信メディアとして「後援会だより」を発行するほか、教職員・学生・保護者が大学の情報を共有し、大学の動向について理解を深めていただくため、「キャンパスガイド家庭版」を作成します。

2. 学生生活に関する援助

- (1) 100円カレーデー（昼食）への経費援助
食事を摂らない学生や栄養の偏り等で体調を崩してしまう学生の健康改善と経済支援策として、学業に専念できる状態を維持することを目的として援助しております。なお、大学当局、同窓会、学友会との4団体に加え、協賛企業のご協力を頂き継続的な支援を続けていきます。
- (2) 女子学生支援として、各キャンパス保健室前トイレに生理用品を設置し、無償で使用できるようにします。

3. 就職支援の援助

- (1) 就職活動に役立つ「就活ガイドブック」など冊子類の作成に係る経費の一部を援助します。
- (2) 学修や生活に適した目標設定や就職活動に向けた自己分析を行うため、4年次生におけるアセスメントテスト（PROG）の経費を援助します。
また、1～3年次生の就職支援を強化するため、希望者に対して「民間就職試験対策講座（応募書類対策、筆記試験対策、模擬面接）」などを実施しますが、その受講料の一部を援助します。さらに、保護者向けセミナー「プロが語る～親ができる就活アドバイス」の受講料の一部を援助します。
- (3) 「公務員教養試験対策講座」の受講料の一部を援助します。
- (4) 「就職活動早期準備講座」の経費を援助します。
- (5) 各学科の進路支援活動に対して、経費の一部を援助します。

4. 課外活動の援助

- (1) クラブ活動の援助
体育・文化系団体等の学生の自主的活動を支援するため、その活動経費等の一部を援助します。また、年間活動優秀団体を表彰します。
- (2) 大学祭等に対する援助
学生の全学的行事である大学祭等に対する援助を行います。
- (3) 学外指導者の諸経費援助
学生の課外活動の指導に当たる学外指導者に対し、旅費・宿泊費等を援助します。
- (4) 北海道科学大学定期戦への援助
今年度は、本学を会場に開催されます。その経費の一部を援助します。
- (5) 千葉工業大学との硬式野球部定期戦への援助
- (6) その他必要と認められる援助
その他、課外活動等への援助に関しては大学・学生

委員会と連携を図りながら進めます。

5. 教育に必要と認められる援助

- (1) 書籍等の図書を購入し、大学図書館に寄贈します。
- (2) 卒業生・入学生に対して、記念品を贈呈します。
- (3) 工大山羊プロジェクトに係る経費を援助します。
- (4) 学生の自主的活動（T-project、起業学生 Lab）や社会連携・社会貢献の企画に対し経費を援助します。
- (5) その他、必要と認められる援助をします。

6. その他大学の発展に寄与するものと認められる援助

- (1) 学生生活環境の整備
学生の生活環境の向上を図るため、諸施設・設備整備のための経費の一部を援助します。
- (2) 自主的サークル活動への援助
課外活動連合委員会傘下クラブ以外の学生の自主的サークル活動の援助を行います。
- (3) テクロビへの援助
「テクロビ通信」の印刷経費等を援助します。
- (4) 特別積立金
後援会としての特別積立金総額は令和7年度末において約6,200万円となっております。
本年度においては、特別積立金会計に100万円を計上することとします。
特別積立金の使途については、次世代へ、その恩恵を継続できるように次の3点を踏まえ今後も検討していきます。
 - 1) 特別積立金の使途については、大学当局と十分意見交換を行いながら、具体的な方策を提案します。
 - 2) 学生に豊かなキャンパスライフを提供できる施策とします。
 - 3) 今後に籍する学生も利用可能な学生支援事業とします。
- (5) 貸与奨学金制度
歴代のご父母から委託されてきた特別積立金の使途の一方策として、平成12年度から東北工業大学 後援会貸与奨学金制度が制定され、73名の卒業生に貸与してきました。その運用にあたっては特別積立金の果実（利子）により賄えることが望ましいが、現状に鑑み特別積立金の中から500万円を限度として貸与奨学生預金担保に組み入れます。
平成26年度までは奨学金対象者6名でしたが、平成27年度より8名に増やしました。
なお、返済期間満了に伴って生じる貸与奨学生預金担保戻入金は特別積立金に繰り入れます。

7. 後援会支部組織等の強化支援

支部組織の強化を図るため、適宜、支部幹事会を開催します。また、各県支部活動の情報交換や大学見学会等の活動を支援します。また、宮城県内会員に対しては、本部役員が支援いたします。

8. 同窓会との連携強化

大学の発展に寄与するため、大学支持基盤の強化を図る一助として、同窓会との連携を強めます。

- (1) 後援会、同窓会の三役連絡会議を随時開催し、交流を図ります。
- (2) 各支部と同窓会支部との連携拡大（Web サイトへ「地方企業に就職した卒業生による企業紹介等掲載」）に努めます。

9. 後援会事務局の強化

本後援会の事務局は運営細則により大学当局の教務学生課が担当していますが、本会事業運営の発展とともに事務量は年々増加し、日常業務に支障をきたしている状況にあります。本会発足20年（平成18年度）を契機に大学当局、同窓会および本会の三者共同負担による専従職員の配置を行なってまいりましたが、平成26年度より後援会専従職員を配置しております。
令和2年度より東北工業大学後援会 Web サイトを開設し、後援会イベントのご案内や活動の様子を掲載し情報発信に努めます。